★おわびと訂正…３月号のまちの話題にある『第10回香美市子ども会連合会ピッタリタイムマラソン大会』の記事で、森本結心さんが３位となっていますが、正しくは２位です。おわびして訂正します。

◀ベテラン猟師によるわな教室

２月６日、奥物部ふれあいプラザで、**狩猟フォーラム**が開催されました。

当日は、長崎県庁の平田滋樹さんを講師に迎え、『防護柵設置のポイント・防護柵の簡単な管理方法』と題した被害対策講習会が実施されました。防護柵を設置するときの注意点や入られにくい設置の仕方など、動画や対策事例を交えた分かりやすい説明に、来場者らはうなずきながら聞き入っていました。

その後、現役の猟師による座談会やわな教室が行われ、シカやイノシシを捕獲するためのわなの実演や、現場での体験談などの貴重な話を聞くことができました。

会場では、シカバーガーやシカ肉のから揚げ、シカ皮の装飾品などの販売や、シシ汁の試食コーナーなどが設けられました。参加者からは「おいしい」「レシピを聞きたい」などの声が聞かれ、好評のうちに終了しました。

食生活改善推進協議会物部支部 厚生大臣表彰 受賞

平成２７年度栄養関係功労者の地区組織として、**香美市食生活改善推進協議会物部支部**が厚生労働大臣表彰を受賞しました。これは、昭和５４年の設立以来、食育推進・生活習慣病予防・介護予防などの取り組みを、地域や行政、教育関係機関などと連携しながら、長年にわたり行ってきた功績が認められたものです。

特に、昭和５６年から実施している減塩味噌汁の試飲を通じた減塩活動では、当初、地域の味噌汁の塩分濃度が３．３％という非常に高い状態だったものを、平成１０年には０．８％まで下げることに成功しました。これからも食生活の改善について、さらなる活躍が期待されています。

◀支部会長の岡山ユリ子さんと法光院市長

少年スポーツ交流大会

２月６日、宝町体育館で**第１０回香美市少年スポーツ交流大会**が開催され、市内の小学校やスポーツ少年団から９チームが参加しました。

この大会は、少年期における体力づくりとともに、体育やスポーツに対する意識の高揚を図ることを目的に、毎年開催されています。日頃は種目の異なるスポーツに励む子どもたちが、この日はドッヂビーで交流を深め、楽しく汗を流しました。

優　勝　北斗
準優勝　楠目っ子A
３　位　香北ソフトボールクラブ

▲フリスビーを使ったドッジボールで熱戦！

舟入ジュニアバレーボール 県新人大会で活躍

２月１３日から１４日にかけて、野市青少年センターで開催された**第３４回高知県小学生バレーボール新人大会**に舟入ジュニアバレーボールクラブが出場し、男子の部で初優勝、女子の部で１０年ぶりとなる３位入賞を果たしました。

１年生から５年生まで、メンバー全員の力を合わせてつかんだ会心の結果に、子どもたちは最高の笑顔を見せていました。

栄光をたたえて 第４回 体育文化奨励賞

２月１１日、香美市役所で**第４回香美市体育文化奨励賞表彰式**が開催されました。

この賞は、体育や文化の振興を図るために、平成２３年１月に制定されており、今回はスポーツで功績のあった４名と２団体に贈られました。

楮佐古明輝選手（東京農業大学）＝昨年９月に愛知県で開催された**第６３回全国選抜大学・実業団相撲刈谷大会**で個人優勝され、また、昨年７月に石川県で開催された**第５回全日本大学選抜相撲金沢大会**で団体のメンバーとして出場し、優勝されました。

小笠原国夫選手・**西山弘一**選手＝昨年１０月に和歌山県で開催された**第７０回国民体育大会**に、剣道成年男子団体のメンバーとして出場し、８位に入賞されました。

大西悠太選手（岡豊高校）＝昨年６月に徳島県で開催された**第６８回四国高等学校選手権大会**の男子走り高跳びに出場し、優勝されました。

山田高等学校女子陸上競技部＝昨年１２月に京都府で開催された**女子第２７回全国高等学校駅伝競走大会**で、女子では四国初の第７位に入賞されました。

▲前列左から楮佐古選手・小笠原選手・山田高校女子陸上競技部の田中選手・高知工科大学ソフトテニス部の藤村選手。後列は高知工科大学ソフトテニス部の部員の皆さん。
（西山選手・大西選手は都合により欠席）

高知工科大学ソフトテニス部＝昨年９月に広島県で開催された**第６１回中国・四国学生ソフトテニス選手権大会**に出場し、男子団体戦で優勝。また、昨年１１月に山口県で開催された**第６２回中国・四国・九州三地区学生ソフトテニス大会**では、男子ダブルスで優勝するなど数々の大会で活躍されました。

香美市役所では、香美市民や香美市出身者で、体育・文化関係の全国大会で入賞または四国大会で優勝された方や団体の情報を収集しています。情報をお寄せください。生涯学習振興課☎５３−１０８２

ようこそ香美市へ！ 積丹町の小学生が訪問

▲思い思いの絵柄をフラフに描く積丹町の児童たち

１月１４日から１７日にかけて、姉妹都市の北海道積丹町から小学生１２人が香美市を訪問し、交流を深めました。

児童らは、３泊４日の日程の中でフラフ作り体験や龍河洞探検をし、香美市を満喫した様子でした。児童が一番楽しみにしていたのは大宮小学校との交流で、お互いの紹介をした後、グループに分かれてアンパンマンミュージアムまでのウォークラリーを楽しみました。

また３日目には、昨年８月に積丹町を訪問していた香美市内の児童らとも再会し、秦山公園で楽しい時間を過ごしました。今回の交流をきっかけとして、このつながりをずっと大切にしていってほしいと思います。